

問1 日本の「奴国」が中国の後漢から金印を授かった紀元1世紀前後の、日本と世界の情勢について述べた文として、背景や関連性が正しいものはどれですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 奴国の王は、織田信長が行った楽市・楽座のような自由貿易を求めて後漢と交渉し、同時期のヨーロッパでは大航海時代が幕を開けていた。 | 2. 奴国の王は、中国の皇帝との外交関係を築くことで自国の地位を高めようとし、同じ頃の世界ではローマ帝国の繁栄とともにキリスト教が成立し始めていた。 | 3. 奴国の王は、インダス文明との交易を有利に進めるために後漢へ使者を送り、同時期に中国では仏教が日本へ伝来した。 | 4. 奴国の王は、イスラム教の影響を受けた後漢の制度を取り入れるために金印を求め、パレスチナでは十字軍の遠征が始まっていた。 |
|--|--|---|--|

問2 弥生時代の人々が、収穫した米を保存する建物の床を地面から高く設計した理由として、当時の工夫を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 床下を家畜の飼育スペースとして利用し、限られた土地を有効に活用するため | 2. 敵に米を奪われないよう、床下に深い穴を掘って隠し場所を作るため | 3. 洪水が発生した際に建物全体が水に浮くようにし、米が濡れるのを防ぐため | 4. 風通しを良くして湿気を防ぐとともに、ねずみなどの害獣が侵入するのを防ぐため |
|--|------------------------------------|---------------------------------------|--|

問3 弥生時代の日本列島では、鉄器と青銅器という2種類の金属器が使われていました。鉄器が主に生産や戦闘の道具として発展したのに対し、青銅器が主に「祭祀や儀式の道具」として用いられた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 加工が非常に困難であり、当時の技術では小さな鏡や鈴の形にすることができなかったため | 2. 青銅には殺菌作用があると考えられており、食料の保存や医療用の道具として限定的に使われたため | 3. 鉄に比べて強度が低く実用的な道具には不向きだったが、その希少性や美しさが信仰の場で重視されたため | 4. 大陸から伝わった時期が鉄器よりも大幅に遅く、すでに農具としての鉄器が普及していたため |
|--|--|---|---|

問4 稲作の伝来によって食料を蓄えることが可能になると、社会の仕組みが大きく変化しました。土地や水をめぐる争いが発生し、富や権力を持つ者が現れたことで生じた、当時の社会の変化として正しい説明を選びなさい。 (2023年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1. 身分差がなくなり、すべての村人が平等に食料を分配する仕組みが完成した。 | 2. 朝廷が全国の人々を戸籍に登録し、すべての人に一律に口分田を支給した。 | 3. 人々は定住をやめ、マンモスを追いかけて移動する生活に戻った。 | 4. 各地に「クニ」と呼ばれるまとまりができ、それを支配する「王」が現れた。 |
|--|---------------------------------------|-----------------------------------|--|

問5 3世紀に邪馬台国の卑弥呼が、中国の魏へ使節を送り「親魏倭王」の称号や銅鏡などを得た背景について、当時の日本の状況を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 魏の軍事力を直接日本に呼び寄せ、反対勢力を武力で一掃して一気に領土を拡大しようとしたため | 2. 国内の諸勢力が争う中で、中国という大国の後ろ盾を得ることで自らの権威を高める必要があったため | 3. 中国が日本に対して朝貢を強制し、従わない場合は貿易を禁止すると通告してきたため | 4. 日本の優れた絹織物を中国全土に普及させ、大陸での市場独占権を皇帝に認めてもらうため |
|---|---|--|--|

問6 弥生時代に使用された土器の一般的な特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2026年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|--|------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 1. ろくろを使用せずに低温で焼かれたため、形が歪んでおり非常に厚くて脆い。 | 2. 表面に縄目の文様が全体に施されており、厚手で黒褐色をしている。 | 3. 赤褐色で文様やかざりが少なく、薄くて硬い性質を持っている。 | 4. 呪術的な目的から、表面に激しい隆起や複雑な装飾が施されている。 |
|--|------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|

問7 邪馬台国の女王が中国の魏の皇帝に使者を送った際、皇帝から授けられたとされる称号と、その証として贈られた品物の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2025年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------|---------------------|----------------------------|------------------------------|
| 1. 「倭王」の称号と、百濟から贈られた七支刀 | 2. 「親魏倭王」の称号と、金印や銅鏡 | 3. 「漢委奴国王」の称号と、志賀島で発見された金印 | 4. 「日本国王」の称号と、明との貿易に用いられた勘合符 |
|-------------------------|---------------------|----------------------------|------------------------------|

問8 3世紀の日本において、邪馬台国の女王であった卑弥呼は、中国の北部に位置した「魏」という国に使節を送りました。その際、魏の皇帝から授けられた称号として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2021年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|----------|--------|----------|
| 1. 親魏倭王 | 2. 漢委奴国王 | 3. 遣隋使 | 4. 征夷大將軍 |
|---------|----------|--------|----------|

問9 「漢書」地理志や「魏志」倭人伝などの中国の歴史書には、倭の女王である卑弥呼や、それ以前の倭の小国の王が、中国の皇帝に使者を送ったことが記されています。このような古代の日中外交において、日本の支配者が中国の皇帝から称号を授かるうとした主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 中国の皇帝から直接的に領土を譲り受け、日本列島を中国の行政区画の一部として統治するため。 | 2. 中国の強力な武力や権威を背景に、日本国内の他の勢力に対して自らの支配の正当性を示すため。 | 3. 中国国内でのキリスト教の布教を許可してもらい、宗教的な指導者としての地位を確立するため。 | 4. 中国の皇帝と対等な立場で軍事同盟を結び、高句麗や新羅を共同で攻撃するための約束を取り付けるため。 |
|---|---|---|---|

問10 西暦57年から16世紀末までの歴史的な出来事をまとめた年表において、3世紀の項目に「倭の女王が魏に使いを送る」という記述があります。この時、女王卑弥呼が中国の王朝と外交関係を結んだ主な背景や目的として最も適切なものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 鉄資源を独占するために、朝鮮半島南部の任那（加羅）に日本府を設置する許可を得るため | 2. 中国で確立されていた律令制度を学び、天皇を中心とした中央集権国家をいち早く形成するため | 3. 仏教を正式な国教として導入するために、大陸から僧侶を招き、寺院建設の支援を受けるため | 4. 中国の皇帝から王としての地位を認められることで、国内の統治や周辺諸国との関係を有利に進めるため |
|--|--|---|--|

問11 長崎県壱岐市の「原の辻遺跡」は、大規模な環濠集落を特徴とし、中国の歴史書に登場する「一支国（いきこく）」の王都とされています。この一支国も含まれる当時の倭国の様子や、女王卑弥呼が中国へ使者を送った出来事について詳しく記されている書物はどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1. 『魏志』倭人伝 | 2. 『後漢書』東夷伝 | 3. 『漢書』地理志 | 4. 『宋書』倭国伝 |
|------------|-------------|------------|------------|

問12 5世紀、倭の五王が中国の南朝である「宋」へたびたび使者を送った目的として、当時の東アジア情勢を踏まえた説明として最も適切なものはどれか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 遣隋使の派遣に先立ち、中国の進んだ律令制度や仏教を日本に導入する許可を得るため。 | 2. 福岡県の志賀島で発見された「漢委奴国王」の金印を、宋の皇帝に返還するため。 | 3. 邪馬台国内での争いを鎮めるために、中国の強力な軍隊を日本国内へ招き入れるため。 | 4. 朝鮮半島における軍事的な指揮権や外交的な立場を、中国の皇帝に公認してもらうため。 |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 奴国の王は、中国の皇帝との外交関係を築くことで自国の地位を高めようとし、同じ頃の世界ではローマ帝国の繁栄とともにキリスト教が成立し始めていた。	当時の小国の王が中国（後漢）の皇帝に使者を送り金印を授かったのは、中国の権威を背景に周辺諸国に対して自国の地位を有利にする目的がありました。この紀元1世紀という時期は、西洋においてはローマ帝国の統一とイエスによるキリスト教の創始という、その後の世界史に大きな影響を与える出来事が重なっています。インダス文明は古代、イスラム教や十字軍、大航海時代などはより後世の出来事であり、奴国の時代背景とは一致しません。
問2	答え 4 風通しを良くして湿気を防ぐとともに、ねずみなどの害獣が侵入するのを防ぐため	収穫した米は湿気に弱く、カビが生えやすいため、床を高くして風通しを確保する工夫がなされました。また、柱の上の部分に「ねずみ返し」と呼ばれる板を取り付けるなど、食料を害獣から守るための構造的な特徴を持っています。
問3	答え 3 鉄に比べて強度が低く実用的な道具には不向きだったが、その希少性や美しさが信仰の場で重視されたため	青銅（銅とスズの合金）は鉄に比べて柔らかく、激しい衝撃が加わる武器や農具として使うとすぐに傷んでしまう欠点がありました。しかし、鑄造によって複雑な模様を表現しやすく、磨き上げると金色に輝くといった装飾的な特徴があったため、集団の結束を高めるための祭りや、神聖な儀式の象徴として利用されるようになりました。
問4	答え 4 各地に「クニ」と呼ばれるまとまりができ、それを支配する「王」が現れた。	稲作によって余剰生産物が生まれると、蓄えの多い者と少ない者の間で貧富の差が生じました。また、水資源を管理するリーダーが権力を持つようになり、小さな集団が統合されて「クニ」が形成されました。それらを統治する「王」が登場したことは、中国の歴史書にも記されています。なお、戸籍による口分田の支給は、後の律令国家の仕組み（班田収授の法）にあたります。
問5	答え 2 国内の諸勢力が争う中で、中国という大国の後ろ盾を得ることで自らの権威を高める必要があったため	当時の日本（倭）は、多くの小国が対立し合う「倭国大乱」を経て、女王卑弥呼による連合体である邪馬台国が形成された時期でした。依然として国内には対立勢力が存在していたため、卑弥呼は圧倒的な文化と武力を持つ魏の皇帝から「倭王」として認められることで、自らの統治能力と地位を盤石にしようと考えました。
問6	答え 3 赤褐色で文様やかざりが少なく、薄くて硬い性質を持っている。	弥生土器は、縄文土器に比べて高い温度で焼かれるようになったため、薄くて硬いという特徴を持ちます。縄文土器に見られるような激しい装飾や複雑な文様は少なくなり、機能性を重視したシンプルな作りが特徴です。
問7	答え 2 「親魏倭王」の称号と、金印や銅鏡	卑弥呼は魏の皇帝から「魏に親しい倭の王」を意味する「親魏倭王」の称号を授けられました。その際、権威を象徴する品として金印や100枚の銅鏡などが贈られ、これらを利用して国内の統治を有利に進めようとしたと考えられています。なお、「漢委奴国王」の金印は1世紀（後漢の時代）の出来事です。
問8	答え 1 親魏倭王	中国の歴史書である『魏志』倭人伝によると、邪馬台国の卑弥呼は239年に魏へ使節を派遣しました。当時の倭（日本）は多くの小国が争う不安定な状況にありましたが、卑弥呼は強力な魏との外交関係を結ぶことで、「親魏倭王」の称号や金印、多数の銅鏡を授かり、自らの支配の正当性や権威を高めようとしたと考えられています。
問9	答え 2 中国の強力な武力や権威を背景に、日本国内の他の勢力に対して自らの支配の正当性を示すため。	当時の日本（倭）は多くの小国が並立しており、各勢力の首長は自らの支配力を誇示し、国内を安定させる必要がありました。先進文化を持つ中国（漢や魏など）の皇帝から「親魏倭王」のような称号や金印を授かることは、周辺勢力に対して「自分こそが正当な統治者である」と主張するための強力な裏付けとなりました。
問10	答え 4 中国の皇帝から王としての地位を認められることで、国内の統治や周辺諸国との関係を有利に進めるため	当時の倭（日本）は多くの小国が分立し、争いが続いていた時期でした。邪馬台国の女王である卑弥呼は、当時の中央アジアから東アジアにかけて強大な勢力を持っていた魏の皇帝に朝貢し、自らを王として承認（冊封）してもらうことで、その権威を背景に国内の連合体制を強化しようと考えました。これは、中国の皇帝を中心とした国際秩序を利用した外交政策の一環です。
問11	答え 1 『魏志』倭人伝	3世紀の日本の社会情勢や地理、卑弥呼の統治については、中国の三国時代の歴史書「三国志」の一部である『魏志』倭人伝に記載があります。原の辻遺跡のような環濠集落の存在は、当時の倭国が多くの小国に分かれ、交易を行いつつも対立や防衛を繰り返していた社会状況を裏付けています。
問12	答え 4 朝鮮半島における軍事的な指揮権や外交的な立場を、中国の皇帝に公認してもらうため。	5世紀の倭（ヤマト政権）は、国内の統一を進めるとともに、鉄資源の確保などを求めて朝鮮半島への進出を強めていました。倭の五王は、朝鮮半島における百濟や加耶（加羅）に対する軍事的な影響力や外交的な地位を中国の皇帝に認めてもらう（官爵を得る）ことで、他国や国内の諸勢力に対して自らの正当性を主張しようとしていました。